



隈府小だより

学校教育目標「自ら考え なかまと高め合う 隈府小」

隈府小学校
学校だより No30
文責 芹川博文
12月12日(金)

子どもたちの未来を守る取組へご協力を ～ 家庭教育講演会 ニノ文PTA会長の熱い思い ～

「ともに子どもたちの未来を守る取組へのご協力をお願いします」と、講師のニノ文 元希 様は語られました。今年度の隈府小PTA家庭教育講演会は、PTA会長自ら講師を引き受けていただき、環境教育について熱く語っていただきました。「自分たちがどれほど環境問題に関わっていると思われませんか。」「大量生産、大量消費の時代を生きています。このままではあと20年で埋め立て地はなくなります。」「だから循環型の社会へしきみを転換する必要があります。」との言葉に納得しました。

私が大人になるまで我が家にエアコンはありませんでした。小学低学年の頃、電話が各家庭に引かれました。通学路の道がアスファルトになりました。考えてみると、昭和時代の生活は、今とは大きく違いました。今は便利です。確かに快適です。しかし、後戻りできない状況になっている地球を心配します。

SDGsが採択されたのは2015年。今から10年前です。当時は、「エアコンの設定温度は 20°C までに」など、エコ対策を強調していました。しかし、あれから10年たった今、そうも言っていない程問題は深刻です。人以外の動物や植物も声を上げているかのようです。

講師のニノ文会長は、「子どもたちは宝物。私たちは先人から引き継いだものを順番につないでいかねばなりません」と、語られました。子どもたちの未来を守る取組の輪を、どんどん広げていきたいと励まされました。

寒波到来の中、インフルエンザも心配な中、多数の保護者の皆様に来ていただき、本当にありがとうございました。隈府小の保護者の皆様の温かさを感じた講演会のひと時でもありました。



山場を乗り切る ～ インフルエンザの罹患増加の中で ～

先週から、毎朝緊張感が走ります。インフルエンザの罹患数が日に日に増加したからです。ウイルスは目には見えません。しかし、確かにいることを感じます。教室では換気とマスク着用、そして手洗いを呼びかけています。それでも具合が悪くなる子が保健室を訪れます。顔が赤くなり目もつらそうです。

来週は学習発表会も控えています。どう準備を進めていったらよいのか、各学年とも悩みながらの毎日です。しかし、健康あつての学校生活。できる事をしっかりと、あとは波が収まるのを待つのみです。

そこで、この週末の過ごし方について保護者の皆様にお願いがございます。来週月曜日に一人でも多くの子が学校に来られるよう、

各ご家庭で、特に気を付けてこの土日をお過ごしください。学級閉鎖によりお仕事にも影響が出ておられるご家庭があるかと思います。保護者の方の中にも罹患され、大変な状況にあるご家庭も。皆様と力を合わせ、この山場を乗り切りたいと思います。



隈府小のインフルエンザ罹患の人数

(学級閉鎖のクラスも含めて保護者から届け出のあった人数)

5日(金)	8日(月)	9日(火)	10日(水)	11日(木)
30人	43人	54人	58人	48人